

会 議 録

会議名 (審議会等名)		相模原市社会教育委員会議 (第4回)		
事務局 (担当課)		生涯学習課 電話042-769-8287 (直通)		
開催日時		令和8年2月12日 (火) 午後4時～午後5時30分		
開催場所		相模原市民会館4階 第3中会議室		
出席者	委員	14人 (別紙のとおり)		
	その他	0人		
	事務局	4人		
公開の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
議 題 等		1 あいさつ 2 議題 (1) 正副議長の選出について (2) 令和8年度相模原市社会教育関係団体への補助金の交付について (3) 各種委員会等への派遣について (4) 今期 (令和8年1月から令和10年1月まで) の社会教育委員会議活動について (5) その他 3 その他 4 閉会		

議 事 の 要 旨

1 あいさつ（生涯学習課長）

2 議題

（1）正副議長の選出について

- ・委員の互選により議長に秦野委員、副議長に伊藤委員が選出された。
- ・以後、秦野議長により議事が進行された。

（2）令和8年度相模原市社会教育関係団体への補助金の交付について

審議の公平性・中立性を確保するため、補助金交付対象団体であるPTA連絡協議会選出の松本委員は退出した。

生涯学習課長から令和8年度相模原市社会教育関係団体の補助金交付について説明した。

（秦野議長）

- ・生涯学習課長から補助金交付について説明があったが、質問・意見はあるか。

（江藤委員）

- ・補助金の性格、目的、どのような団体に交付するのか、また、予算と期間についてご教示ください。

（事務局）

- ・社会教育に資する活動を行っている団体に交付するもので、個別に活動する団体ではなく、市内全域で連携しているPTA連絡協議会のような団体に交付している。予算については諮問のとおりで、申請後、年度末までが補助対象期間である。

（齊藤（信）委員）

- ・PTAは学校から独立している団体なのか教えていただきたい。

（秦野議長）（事務局）

- ・学校の附属機関ではなく、独立した社会教育団体として活動している。

（秦野議長）

- ・他に質問、意見等無ければ補助金の交付については承認するという事によいか。

（全委員）

- ・異議なし

（秦野議長）

- ・諮問のあった相模原市PTA連絡協議会と、相模原市地域婦人団体連絡協議会への補助金について承認とする。

補助金交付対象団体であるPTA連絡協議会選出の松本委員が入室した。

(3) 各委員会等への派遣について

事務局から、各委員会等の派遣について説明があった。

委員の互選により、市民大学「あじさい大学コース」検討委員会へ小林委員、図書館協議会へ井上委員が選出された。

(4) 今期（令和8年1月から令和10年1月まで）の社会教育委員会議活動について

(秦野議長)

- ・相模原市の社会教育について、関心を持っていることや、自分の活動母体の内容と合わせて、社会教育委員として考えていきたいことなどを情報交換していきたい。
- ・2グループに分けて話し合いをしたいと思うが良いか。

(全委員)

- ・反対意見なし

—各グループで情報交換—

1 グループ発表

(小林委員)

- ・相模原市では、コミュニティ・スクールが広がってきているが、政令指定都市の中ではだいぶ遅れをとっている。地域づくりや学校教育のやり方、親子関係にまで踏み込めると、先生方の専門性が発揮できるような時間も確保できるのではないか。その実態についても、先生・親・子どもなどから生の声を集めることにより、見えてくるのではないかという意見が出てきた。

(秦野議長)

- ・学校教育には社会教育委員は直接踏み込めないが、どのようにアプローチしていくのか良い案は出たか。

(齊藤（賢）委員)

- ・様々な団体・委員と連携を取りながら進めていきたい。

(秦野議長)

学校と地域の連携を一步踏み込んだ形で、地域の団体と連携を取りながら学校の中との間にどのようにしてうまく窓口を作っていくかという部分に関心があるとまとめた。

2 グループ

(秦野議長)

- ・民間の学びの場が多くなっているので、どこでどんな風にどんな人に向けて行っているのか可視化できたら面白いのではないかと思うという意見が出た。また、例えば、ボーイスカウト、ガールスカウトが子どもたちの力を発揮させられるように頑張っていたり、PTA・公民館等で子どもと親に向けて一生懸命工夫していたりすることなどと、うまくコラボすることで力が大きくなっていくのではないか。NPO等民間の団体へも目を向け、つながりながら活動していくことを社会教育委員で調べて提案をして、なおかつ公民館でモデル事業をやってもらう、以上の意見が出た。
- ・今後の進め方としては、全員で1つのテーマに取り組む方法と、チームに分かれてそれぞれで研究調査を行う方法がある。次回の定例会では、提言か研究調査のどちらで進めていくか、取り組み方などについて話し合っていきたい。

(5) その他

- ・委員から所属している団体の活動紹介、大会の案内等があった。

秦野議長のあいさつで会議を終了した。

以 上

令和7年度 第4回社会教育委員会議定例会出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	永月 徹	相模原市立小学校長会		出席
2	井上 邦子	相模原市文化協会		出席
3	松本 公美	相模原市P T A連絡協議会		出席
4	伊藤 孝久	相模原市公民館連絡協議会	副議長	出席
5	齊藤 賢一	相模原市子ども会育成連絡協議会		出席
6	長沢 亜希子	こみかる・きっず相模原		出席
7	若林 由美	一般社団法人 こども家族早期発達支援学会事務局長		出席
8	江藤 佑	学識経験者（桜美林大学 特任講師）		出席
9	秦野 玲子	学識経験者（RE Learning代表）	議長	出席
10	本橋 明彦	学識経験者（（学）相模女子大学常務理事 （総務担当理事））		出席
11	小林 政美	学識経験者（特定非営利活動法人男女共同参画 さがみはら 理事）		出席
12	齊藤 信	公募		出席
13	小杉 美智子	公募		出席
14	雨宮 健一郎	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク 相模原エリア統括		出席